十一日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町大字平字細越字十四
發行人兼印刷人　阿田弘盛
福島縣石城郡平町大字平字細越字十四
印刷所　磐城時報社
福島縣石城郡平町大字平字細越字十五
發行所　磐城時報社
一部金弐錢一ケ月金参拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
毎日刊（日曜、祭日）休刊

石城で空前絶後の有段者會發會式

愈々十二日午前十一時擧行

嘉納師範外八名來平

石城、双葉、相馬三郡聯合講道館有段者會の發會式は既報の如く十二日午前十一時から平町平劇場で擧行する筈である、磐城の柔道界は平町出身にして全國的に名だたる鷹崎正見五段等の奔走により往年磐城柔道會の生るゝあり、日を逐ふて斯道に志し或は興味を持つ者增加の傾嚮で今回の

盛會は實にその氣運高潮に達したものと言へ得る。同會は會長に諸橋守次氏を有し去月二十五日附で中央講道館有段者會會長嘉納治五郎氏より設立を承認された有意義な會合である愈々あす發會式を擧行する筈であるが、當日は午前十一時會長諸橋守次氏の挨拶に次いで

有志の　祝辭、嘉納師範の訓話あり午後一時から

▲柔道に關する講演鷹崎正見氏▲柔道の起源について岡田朝五郎氏▲柔道講演大角桂嚴氏、講演嘉納師範

等講演あり終つて橋本八段、岡田三段、長岡八段、高橋六段、櫻庭六段、鷹崎五段、山下八段であり加ふるに近來著しく確實手により一兩年の繰上げ施工を村上六段等全國的に有名な人々の「柔道の型」實演あり最後に櫻井とくは父鐵五郎、長女はつと共に九日東京地方裁判所に三輪辯護士を代理人として麹町區永樂町一の一磐城炭礦株式會社社長淺野總一郎を相手取り損害賠償四千五百圓の請求訴訟を提起した。理由は、とくの夫伊之助が同會社綴坑に採炭夫として雇はれ中昨年八月二十五日落盤の爲め壓死したが之は會社の設備不完全のため起つたもので遺族三人は衣食に窮するに至つたので本訴に及んだものであるが、かうした訴訟は從來嘗てなかつた事で成行を注目されてゐる。

▲苗代品評會　草野村農會主催苗代及二毛作品評會は十二日、十三日の兩日擧行の等で

小川鐵道大臣一行

近く小名濱視察か

最も有利な立場にある

平小鐵道は豫定繰上げか

小鐵道最近の起工は今や動かすべからざる既定の事實となつたが或る確なる筋より仄聞する所によれば小川鐵相は來月中參與官、建設局長等の本省關係者を帶同親しく小名濱附近を視察の豫定らしく而も該豫定線は白井高岡兩氏の代議士時代より絶へず運動の結果今日の成案を得たもので最近では同町出身の學習院教授馬上孝太郎氏の斡旋奔走により縣議小野晉平氏其他の地元有志がさきに研究會の青木信光子或は前政務次官佐竹三吾氏を動かしたる等の事實あり目下の處全國豫定各線中最も有利な立場に置かれてゐるものと觀られてゐる。

一採炭夫の妻

淺野總一郎氏を訴ふ

四千五百圓の損害請求

安達郡二本松町字下ノ町五二福井とくは父鐵五郎、長女はつと共に九日東京地方裁判所に三輪辯護士を代理人として麹町區永樂町一の一磐城炭礦株式會社社長淺野總一郎を相手取り損害賠償四千五百圓の請求訴訟を提起した。理由は、とくの夫伊之助が同會社綴坑に採炭夫として雇はれ中昨年八月二十五日落盤の爲め壓死したが之は會社の設備不完全のため起つたもので遺族三人は衣食に窮するに至つたので本訴に及んだものであるが、かうした訴訟は從來嘗てなかつた事で成行を注目されてゐる。

石城に溺死者が多い

水泳に御用心

樫村平署長談

未だ水無月の半にもならぬのに一朝かつと照り上がると俄に眞夏の樣な蒸暑さを感じ上から下迄夏服でも汗ばむ位、氷水屋は既に店頭の準備を了し人の出盛る平町の二、三丁目角邊りにはアイスクリームのすゞしい呼び聲がきかれる、世は紛ふ方なき夏となつて暑さをさくる解放された水の世界はすぐ目の前に迫つた、そこで水遊びの注意であるが、小名濱、四倉の各海水浴場では眞夏の何日間かを土地の消防組などが出動して海上の警戒監視に努めるばかりか海水浴には幼い子供の一人遊びと云ふのも稀なので比較的間違ひは尠いが、それ以外各農村の池沼や河川などに至つては常に一定の泳ぎ場所がない處からつい大人の監視が行き屆かず其れがため往々取返しのつかぬ間違ひが起る、之れを昨年七月以降十二月迄の間に於ける平署管内の溺死者統計に徴するに男五名、女四名、計九名の死亡者中八名は自殺の一名を除く他の八名は悉く游泳中の過失溺死で之れに四倉、植田兩署管内の溺死者も若干名あるから石城郡内の一と夏中の溺死者は例年侮られぬ數に上つてゐる筈である、而して之れが災禍を避けんとするには各家庭の注意が何より大切なるは勿論である各村消防組等の力で一定の游泳場を定め假令常置と迄はゆかなくも適當に之れを見廻る等所謂團體的の力によつて間違ひを未然に防ぐなども簡便な一方法であるから此間各自に於て適當な考慮が望ましいと樫村署長は語つてゐた。

平製のサイダーは有名ビールより優れてゐる

値段は四割位安い

税務署でサイダー試飲會

午後二時から税務署樓上に地方有志を招きサイダーの試飲會を催ほした、試飲サイダーは平町平製のものは十五錢位だと聞いて今まで知らぬが佛で高くて味の違はぬものを飲んでゐたのに一同は馬鹿氣てゐたといふ氣持ちを持つて散會した。

▲植田校完成　植田小學校は本年事工費十萬圓を以て植田職工組合、常盤工業會社が請負ひ工事中の處愈々本月末頃敎室の全部建築完成する事になつたので七月一日から開校する筈であるが、開校式は八月中に擧行すると。

時報文藝

▼笑ふ女達　眞砂美

何が面白いんだ
笑つてゐる女達よ
何がうれしいんだ
唄つてゐる小鳥達よ
あゝ晴れてゐる
六月のそらよ
心はくらいのに……
失なはれたはかない戀よ
消えて行くもののまぼろし
傷ついた小鳥の飛ぶべく
六月の空は
あまりに濃青い。

販賣利用組合に會議室を貸さぬ

本縣へ過般陳情して來た石城販賣利用組合が繭賣買取引場として舊石城郡役所會議室の借受けに關し縣が調査したる處によれば使用希望時期である八月中旬以降十月末日までの六十餘日間に對しては昨年中の同期間中使用別に見れば

▲陸海軍點呼並召集事務檢閲三回三日▲小學教員檢定試驗一回六日▲町村長支會々議三回三日▲講習講話四回六日▲各種團体會議並縣指定研究會一三回一三日▲品評會展覽會三回一五日

等二十七回で四十六日を使用してゐる實狀にあり縣に於て使用する場合除しといつてゐる町村長各種勸業團体の會合會議等に差當り支障を來すものと見られ年度を通じて各種の會合施設の最も多い時期に際し他に之に換ふるべき適當の施設を有せざる平町の現況にたいて之等各種公益團体事業施設の主体を失ふことゝなり機關の運用と頓挫を來しその發達を阻害する恐れあり又六月中に於ける二十間の使用に關して從來徵兵檢査等の施行された例もあり廳舍の管理上にも種々不便不都合を生ずる憂ひ無きにあらずとなして大体に於て縣は該出願に對しては貸與せざる方針である。

「うどんげ」實は虫の産んだ卵

（一）　磐中某教諭談

これから梅雨の季節になりまして、毎日じめ〳〵と雨が降り續きます、黴が方々へ生え障子の棧や壁などには「うどんげ」が咲きます、此の「うどんげ」は電燈の笠などにも咲くこともありますが、昔の人はこの「うどんげ」の咲いたのを見つけると赤いから縁起がいいとか、白いから惡いとか、種々の迷信をこれに絡ませて喜んだり悲しんだりしたものです、一体「うどんげ」は何かといふと、優曇華と書き佛典の中にある植物の名稱で優曇鉢華と言ひ又瑞應華だの靈瑞華だのとも呼びます、三千年に唯一度輪王が世に出るとき花が咲くと云ふ珍らしい植物のことでして、日本では無花果の花と芭蕉の花にも通はせて居ますが、それが又いつの間にか梅雨時分に障子や電燈の笠などに現はれる此の不思議なものゝ名稱となつて仕舞つたのです、この障子などに現はれるのは決して花ではなく〳〵てよく見ると細い絲を引きつつその頭に白い玉がついて居り、時にはそれに紅を含んで居ることがあります。（つゞく）

東京株式清算取引高低表

（東株ハ當中先限他株ハ先限ノミ）

◎第一部

	寄付	止
東株（當）	一五一六	一五二三
（中）	一五二五	一五三〇
（先）	一五四三	一五四一
新（當）	一四〇九	一四〇八
（中）	一四一四	一四一六
（先）	一四二四	一四三一

郵船	―
同新	―
富紡	四三六
同新	二二五
鐘紡	二二九〇
同新	一二五六
日糖	九六〇
同新	―
二新	四〇〇
搬糖	五一七
同新	―
新高	六二六
同新	二七七
濱取	四一五

◎第二部

麥酒	二〇三九
同新	一三八〇
麥鑛	二八三
熱帶	四〇六

◎第三部

白煉	―
日セ	三三五
淺野	七七五
同新	三六五
自動	三四八
同新	―
富紙	七六九
同新	二八六
磐セ	五九八
久原	五六九
同新	―
日石	五七五
樺太	五六九
日魯	一一六三
同新	一〇二九
日粉	九四〇

短期前場

	寄付	高値	安値	引値
播水	五二一	五二四	五二一	五二四
久原	五六〇	五六三	五五五	五五五
新淺	三六七	三七一	三六六	三六七
日石	五六四	五六九	五六四	五六九
新鐘	二三六八	二三八二	二三六五	二三八二
新東	一三九五	一四二二	一三九五	一四二二

東京商品取引

（六月十一日前場）

◎期米

	六限	七限	八限
一節	三七一五	三七三九	三七四四
二節	三七一五	三七四四	三七四二
三節	三七一〇	三七三九	三七四〇
四節	三七二〇	三七四〇	三七四四
五節	三七一五	三七四〇	三七四四
六節	三七一七	三七四四	三七四六
七節	三七一七	三七四四	三七四四
八節	三七一二	三七四四	三七四六

◎綿糸

	一節	二節	三節	四節
六限	三三五六	三三六〇	三三六二	三三六二
七限	三三六一	三三八九	三三九三	三三九三
八限	三三一四	三三二三	三三一九	三三一七
九限	三三二四	三三三六	三三三六	三三三〇
十限	三三四二	三三四六	三三五〇	三三四七
十一限	三三五七	三三五七	三三五七	三三五〇
十二限	三三六五	三三六〇	三三五九	三三五九

◎生糸

	一節		二節	
六限	一四五八	一四五八	一四五九	一四五九
七限	一四七七	一四七九	一四七六	一四七六
八限	一四七五	一四七五	一四七五	一四七六
九限	一四七五	一四七三	一四七八	一四七一
十限	一四七三	一四七三	一四七三	一四七三

馬鹿にできない消費

▼世は益々不景氣一にも經濟、二にも經濟、三にも四にも

◎よく落ない、スグへる石鹸（劣等品）
◎よく落ちる、チキへる石鹸（下等品）
◎よく落ちる、ヨクへる石鹸（中等品）

一ダース六十錢でも、七十錢でも、不經濟なり、衣地いためる、すゝぎを何遍もする、水をウント使ふ、時間がかゝる、洗濯が苦になる

◎よく落る、ナカ〳〵へらない石鹸（一等品）

衣地をいためず、白いものがヨク落ちる、すゝぎに骨が折れぬ、洗濯が樂にできる

以上實物に就き一々説明す、一家、國家の經濟を思ふ主婦主人の御來會を希望す

平町土橋（マルマン内）

（各等共廉價即賣）

洗濯石鹸品評會

開始　柳川　御一人前出前　四拾錢　迅速

本年も相變らず御最負の程願ひます

牛肉御料理　石川亭

平町田町（電話四三番）

婦人病血の道の妙薬

定價壹圓・貳圓・徳用五圓

代理店　山野邊藥局

平町五丁目角

滋養、强壯劑として愈々好評

偉大なる藥酒「粟守酒」

朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力

粟守酒特約店　大平屋藥店

代價八日分壹圓九十錢

平町一丁目（電六二四）

野崎才助儀病氣中の處薬石効なく九日午前六時死去仕り候間此段謹告仕り候

追而十二日午後二時小名濱漁業組合葬を以て當町淨光院に於て葬儀相營み可申候

昭和二年六月九日

福島縣小名濱町

喪主　野崎三郎
親戚總代　志賀要平
　　　　　比佐庄兵衛
友人總代　水野政次郎
　　　　　小野晋平

當組合組合長野崎才助儀病氣中の處去る九日午前六時死去仕候に付此段御通知に代え謹告仕候

六月九日

小名濱町漁業組合

當會社社長野崎才助儀去る九日死去致候間此段謹告仕候

昭和二年六月九日

小名濱水產株式會社

印刷物の御用は……加納活版所